

econ.

No. 24

特集 見つけよう、自分のテーマ。見つけよう、自分のやりたいこと。

経済学部が変わる!! 2年次学科選択制実施!

- 市田君の経済学部統一入試研究!
- 板橋君のぶらりゼミ訪問ー水野谷ゼミナール／宮島ゼミナール
- 学生総合支援システムG-PLUS!／授業管理システムGOALS

News 1 1部ゼミ対抗ソフトボール大会／2部基礎ゼミボウリング大会

interview OB訪問ー働きマン⑦国税専門官 山田健太さん

News 2 就職情報／基礎ゼミ NIE 講義／保護者懇談会



「石巻日日新聞」手書き新聞と「東海新報」コピー刷り新聞

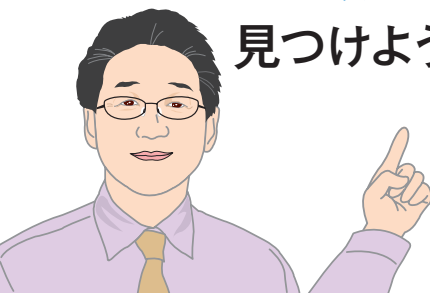
2011年3月11日に発生した東日本大震災により、東北地方では、多くの地方新聞社が、社屋の損壊、印刷機の水没、記者の死亡などのため、新聞を発行できなくなるなど甚大な被害を受けた。そのような中、被災地の一つ、宮城県石巻市にある「石巻日日新聞」(1912年創刊)は、自らの被災にもかかわらず手書きの新聞を発行し続けた。5月に行われた1年生向けのNIE講義でもこのことが取り上げられ、改めて新聞の重要性が紹介された。また、岩手県大船渡市にある「東海新報」(1958年創刊)も、カラーコピー機を使い震災翌日には2,000部の号外を発行した。両紙とも発行部数2万部前後の地域紙だが、現在もさまざまな困難の中で新聞を発行し続け、身近な情報伝達手段として大きな役割を果たしている。(関連記事は8ページ。新聞の掲載にあたり両新聞社の許可をいただきました。)

この度の東日本大震災において、被害に遭われました皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災を記憶する。3・11を忘れない。

特集 経済学部が変わる!! 2年次学科

見つけよう、自分のテーマ。見つけよう、自分のやりたいこと。



経済学部教授 森上先生

2012年度から経済学部は、学部統一入試と2年次学科選択制を実施することになりました。入学して最初の1年間は経済学の基礎を学び、自分の学びたいテーマをみつけます。そして、2年次から専門のゼミナールに所属して専門分野を深く学び、更なる成長を目指します。その概要を経済学部1年生の市田君が森上先生に尋ねてみました。

1

- 今度、経済学部のカリキュラムが大きく変わると聞きましたが、入試も何か変わるのでしょうか？
- これまでは経済学科と地域経済学科、あらかじめどちらかの学科を選んで受験していたわけだけど、2012年度からは、経済学部統一の入試になるんだ。どちらかの学科を選ぶかは、1年間じっくり考えて決められるよ。
- 2月9日と2月10日とに経済学部の入試がありますが、どちらかの日を選んで受験するのですか？
- どちらか都合の良い日を選んで良いし、あるいは両方の日に出願することもできるんだ。どちらの日も条件は同じだよ。2日間とも受験することもできるので、挑戦できるチャンスが今までよりも広がるね。

経済学部の入学試験

経済学部
に出願

経済学部
統一の
入学試験

合格発表

1年生として入学
学科に所属せず経済学部

1年次

経済学部共通カリキュラム

学科に所属せず

経済学部基礎科目

統計・情報

理 論

歴 史

基礎ゼミナール

ゼミ選択Ⅱ 学科選択

オープンキャンパス

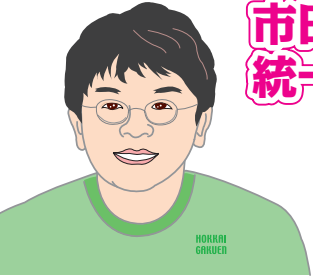


平成23年度入学式

- 1年生の間にどちらの学科にするかを決められるのか少し不安です…。
- まあまあそう心配しないで。1年生はしっかりと経済学の基礎を学ぶ時期なんだ。経済学科に進むにしても、地域経済学科に進むにしても、まず基礎科目をじっくりと学んで、自分がどの分野に興味を持っているか考えて欲しい。その上で自分の興味のあるゼミ（ゼミナール）を選べば良いんじゃないかな。ゼミの選択がそのまま学科の選択になるんだ。経済学科の先生のゼミを選べば経済学科の所属に、地域経済学科の先生のゼミを選べば地域経済学科の所属になるよ。

2

選択制実施!



経済学部1年生 市田君

市田君の経済学部 統一入試研究!



経済学部パンフレット



ゼミ選びで学科が決まることまでは分かったのですが、その後はどうすればいいのですか？



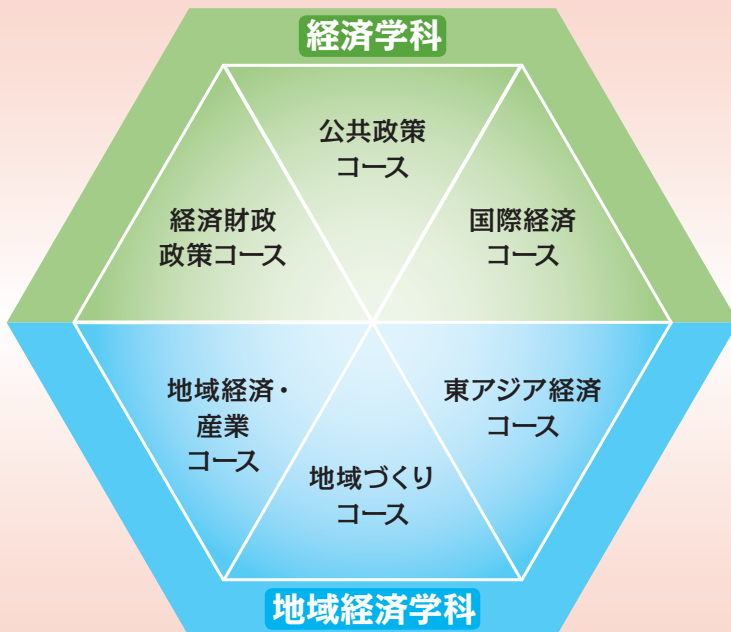
学科が決まったら、次はコースを選ばないといけないね。経済学科・地域経済学科にはそれぞれ3つずつ、合わせて6つのコースがあるんだ。コースの内容については、オープンキャンパスで配っている経済学部のパンフレットに詳しく書かれているよ。



(パンフレットを見ながら) それぞれに3つのコースですか。どれを選んだらいいの、迷いそうだなあ…

2・3・4年次 (学科所属)

ゼミナール I - ゼミナール II - ゼミナール III



ゼミナール I - ゼミナール II - ゼミナール III



講義



ゼミナール



地域経済学科の地域研修での現地調査



僕も基礎ゼミを受講していますが、高校までの授業とは少し形式が違いますね？



ゼミというのは確かに高校までに無い授業のかたちだね。講義は基本的には、学生が先生の話聞くわけだけど、ゼミは少し違うんだ。学生が主役になって、色々なテーマについて自分たちで調べ、発表し、それについてゼミのメンバー全員で討論をしながら進めていくんだよ。



2年生からのゼミは、基礎ゼミとは違うのでしょうか？ 何だか難しそうです。



大丈夫、大丈夫。2年生からのゼミの雰囲気慣れてもらえるように、経済学部の1年生には基礎ゼミが開講されているんだよ。ほとんどの学生が基礎ゼミに所属して、

図書館での文献の調べ方やゼミでの発表のしかたなどを一から学んでいるよね。1年間、基礎ゼミを学べば、ゼミの進め方に慣れることができると思うよ。



基礎ゼミで1年間学んだ後に、専門のゼミを選べばいいですね。選んだゼミで自分の学科が決まるので、ゼミ選びって大切ですね。



ゼミ選びの参考にしてもらうために、ゼミ説明会も予定されているから、積極的に参加すると良いね。そういえば、板橋君がゼミの見学に行くって言っていたよ。4、5ページにゼミの紹介記が載っているから、読んでみたらどうかな。参考になると思うよ。



ありがとうございます。早速読んでみます!!



ところで市田君、経済学って何のための学問だと思う？

ええ！（いきなりそんなこと言われても…！）ええっと…お金儲けのためですか？

お金儲けもちろん関わるけれど、それを考えるのが経済学の目的というわけじゃないんだ。経済学は、多くの人がどうやったら幸せになるかを考える学問なんだよ。そのために、まずはヒト・モノ・カネが動く仕組みを学び（理論）、実際にどうやって動いてきたのかを学び（歴史）、その上で政府や自治体、地域がどういうことをすれば、みんなが幸せに暮らせるか（政策）を考えるんだ。

そうか、だから1年生で理論や歴史を学んで、コースを選んだ後に、政策について詳しく学ぶんですね。

その通り！コースを選ぶときには、自分が学んだことをどう社会に生かしたいか？を考えてみるといいんじゃないかな。

5



1年生で色々な授業を受けてみたり、基礎ゼミの先生に相談してみてもいいかもしれないね。



なるほど～。自分が学んだことの生かし方を考えると、どの学科やコースを選ぶのが良いか、決められそうです。今日はありがとうございました！



板橋君の

ぶらり



ゼミ訪問



地域経済学科

水野谷ゼミナール



水野谷ゼミは2つの大きなイベントを目標に活動しています。1つは、夏休みに調査合宿を実施すること、もう1つは、ゼミの調査研究成果を論文にまとめ、全国の大学から学生が集まる「日本経済学生ゼミナール大会」（毎年12月末に開催）に出場することです。

このイベントを達成する出発点として、まずはゼミで1つの調査研究テーマを決めます。テーマは最近の社会経済問題の中からゼミ生が決めます。昨年は学力低下問題を選び、4～7月には、学力問題に関わる入門書や資料をみんなで読んで、内容についてお互いに発表して議論しました。これは教室や図書館などでできる勉強、つまり座学です。学力問題の現状をより具体的に理解するために、その現場を直接自分の目で見て、関係者



経済学部ゼミナール協議会（経ゼミ協）に所属する板橋君は、夏休みも近い7月のある日、12月に経ゼミ協主催で行なわれる予定のゼミ説明会の下調べとして、経済学科の宮島ゼミ、地域経済学科の水野谷ゼミを訪ね、ゼミの内容について聞いてみました。

にいろいろ教えてもらうこと、つまり社会調査が有効です。昨年は、夏休みに2泊3日で、地域が丸となって学力向上に取り組んでいる鹿追町を訪問し、学校関係者から話を聞いたり、意見交換したりしました。

水野谷ゼミでは、座学や現場から得た知識や経験を9～12月にゼミの仲間内で分担しながら共同論文にまとめます。そして、昨年は中央大学で12月に開催された「日本経済学生ゼミナール大会」において、東北学院大学と中央大学の学生とともに、お互いの論文について発表・討論しました。

調査合宿や共同論文の執筆・発表には苦勞をとまいませんが、ゼミの仲間とともに未知のテーマについて学び、その成果としての論文を試行錯誤しながら作成し、それを発表して他大学の学生と交流を深めることによって、ゼミ生は学問を深めると同時に、人間的にも一回り大きくなります。

（水野谷武志 教授）



二人が中心となってゼミをしきっています。夏休みの調査研究などの打ち合わせにも熱が入ります。

左からゼミ長の吉田燎平君、副ゼミ長の富樫大輔君



北海学園大学生向けの Web サイト G-PLUS! インターネット授業管理システム GOALS

学生総合支援システム G-PLUS! について

G-PLUS!とは、北海学園大学の学生の大学生活を支援するための Web サイト（ポータルサイト）のことをいいます。北海学園大学が提供している各情報システムの入口として、メールシステムや就職支援サイト、そして授業支援や自学自習に利用されている授業管理システムなどに容易にアクセスすることができます。



G-PLUS!は今後さらなる機能充実を図り、2011年秋には「成績通知機能」、2012年春には「WEB履修登録機能」や「WEBシラバス機能」を追加されます。大学ではこれからもG-PLUS!を通して、学生の大学生活をより良くするためにサポート体制を充実していく予定です。

活用していますか?



授業管理システム GOALS について

GOALSとは、大学における授業運営を効率よく支援するLMS (Learning Management System - 授業管理システム)のことをいいます。インターネットを介して、教員からの教材課題が提示され、受講者はそれらをパソコンや携帯電話で実施したり、提出したりできます。具体的には予習・授業・復習の資料の提示、レポート課題の提示・提出・評価、小テスト、アンケート、掲示板、Q&Aなどの機能があり、対面授業を補完するシステムとして利用されています。

▲実際のG-PLUS!の画面

▼実際のGOALSの画面

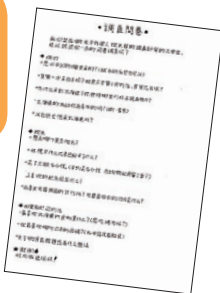


左から立石芽衣さん、須貝美月さん、阿部里紗さん



経済学科 宮島ゼミナール

宮島先生は、いつも学生の立場になって関わってくれ、みんな仲の良いアットホームな雰囲気のゼミです。



実際のアンケート用紙

国際経済、とくにアジア諸国を研究している宮島准教授のもとでゼミ活動をする私たちは、昨年度のゼミⅠでは中国の経済発展に注目しました。そして、『アジア化する北海道』をテーマに、近年、より活発になった中国の経済状況を北海道との関連から調査しました。具体的には、「消費」「観光」「貿易」の3つの側面から考察を行い、政策提言もしました。

私は「観光班」に所属し、北海道観光に関する統計や資料の収集・分析を担当しました。近年、北海道を訪れる外国人観光客は増加しています。とくに、アジアからの外国人が多く、なかでも中国からの観光客は急増しています。

私たちは、こうした現状のなかで、北海道全体の外国人観光客への対応はどうか、そして、実際に外国人観光客はどんな感想を持っているのかに興味を持ちました。「観光班」では、実際に街に出て中国人観光客に対し、直接アンケートを実施しました(写真①)。私たちは、中国語を話すことができないので、質問票を作成する際には本学の中国人留学生にも協力してもらいました。

日本語で会話できる人や英語で対応して

くれる人もいましたが、断られることも少なからずありました。私たちは、中国語は地域によって異なるにも関わらず、アンケートの中国語を1パターンしか準備していなかったからです。中国人観光客とコミュニケーションをとるのに、とても苦戦したことが印象深く残っています。

さらに、大通や札幌駅周辺の観光窓口(写真②:札幌駅みどりの窓口の外国人用インフォメーションデスク)や外国人スタッフ駐在場所を訪問したり、外国人観光客の多いお店やおみやげ店を見て回ったりして、外国人観光客への対応・対策について調査も行いました。

今回の研究をとおして、中国人の北海道観光への関心の高さを感じ取ることができました。ただ、中国人観光客にもっと快適に観光をしてもらえて、なおかつ、観光地にもメリットをもたらすための工夫の難しさも、同時に実感しました。

この研究成果は、昨年12月に釧路公立大学で開催された「SCAN」の研究会で発表しました。普段接することのない一般公聴のかたがたに、調査の進展の参考になる意見を数多くいただき、考えを深める良い機会になったと思います。

今年度のゼミⅡでは、アジア経済の発展の歴史を学ぶために、世界銀行のレポートを原書講読しています。さらに4年次でのゼミ論文・卒業論文作成の準備のため、ゼミ生が個々にテーマを設定して日々研究・調査に励んでいます。(3年 須貝美月)



1部 ゼミ対抗ソフトボール大会



6月13日から16日にかけて、今年も経済学部ゼミナール協議会による（1部）ゼミ対抗ソフトボール大会が月寒公園坂下球場で行われました。全51チームの中で決勝に勝ち進んだのは「北倉ゼミⅡ」と「山田ゼミⅠ・Ⅱ」。接戦のすえ、「山田ゼミⅠ・Ⅱ」が優勝しました。山田ゼミの代表の方によれば、ゼミⅠとゼミⅡの合同参加ながら、事前に練習する機会はなかったとのこと。「ぶっつけ本番でした。勝つごとにいい雰囲気がうまれ、元気がわいてきました。また、負けたチームからの声援・応援も力になりました」と嬉しそうに語ってくれました。

今回は雨の中で実施された試合もありましたが、どのチームも皆で声援を送り、一体となってプレーに臨んでいました。4月に入学したばかりの基礎ゼミ生はもちろんのこと、2年生以上のメンバーにとっても、親交を深める貴重な機会になったのではないのでしょうか。



◀ 熱い応援がくりひろげられました



熱いプレーの数々！



▲グラウンド整備に汗を流した経ゼミ協の皆さん

▲決勝戦に勝ち進んだ山田ゼミⅠ・Ⅱチームと北倉ゼミⅡチーム



2部 基礎ゼミ ● ボウリング大会



▲開会式



▲団体戦にゼミの一体感が高まります

1年生の親睦を図るため、2部基礎ゼミナールを対象にしたボウリング大会が6月23日と30日に開催されました。当日は20ほどのレーンに分かれ、それぞれ2ゲームずつが行われました。まず前半の1ゲーム目は個人戦です。みんな次々とボールを投げ、その転がり方と倒れたピンの数に誰もが一喜一憂。中には、連続でストライクを決め、スコアが200を超える腕前の人もありました。続く2ゲーム目は、4～5人ずつのチームに分かれた団体戦。初心者の人でも上手な人も一緒になり、メンバー同士で協力しながら得点を競います。1ゲームをメンバー全員が交代で投げていくため、投げる順番をどうするかも作戦の一つです。白熱した一戦の結果、23日は平野基礎ゼミCチーム、30日は古林基礎ゼミBチームがそれぞれ優勝しました。また、どのゼミも笑顔で声を掛け合うなど、大会は大いに盛り上がり、交友を深める良い機会になったようでした。



◀全員がプレーヤー

個人技の熱い闘い



人に伝える仕事がしたくて！

山田 健太さん

やまだ けんた

◀ 税務六法と愛用の電卓を手に

希望の職に就いて

大学を卒業後、国税専門官の職務について3年が過ぎた。札幌市内の税務署に勤務する山田健太さんは、学生時代に目指した公務員の希望職に就き、多忙ながらも充実した日々を送っている。

「採用試験に最終合格の後、札幌出身ですので北海道を希望し札幌国税局に採用が決められました。札幌国税局は、北は稚内から、南は函館まで北海道全域を管轄しています。管内には30の税務署があり、ちょうど異動の時期なので少しそわそわしています」とちょっとした緊張の時期なのだという。

入局した2008年は団塊の世代が数多く退職する時期だったため、職員採用募集の応募倍率は5.6倍（例年10倍前後で推移）と恵まれていたそうだが、難関の試験であることに変わりはない。本学は公務員志望者が多く、就職状況でも公務員への採用者が多数いて、山田さんもその中の一人。しかし大学入学当初は将来への希望が固まっていたわけではなかった。「このまま、北海道でしっかり働きたいという思いがありました。北海学園大学は就職に強く、公務員になる人も多いと聞いていましたので、自分もなれたらいいなという感じで、まあ漠然と」した意識しかなかったそうだ。

恵まれていた学生時代

「学生生活は凄く楽しかったです。周りの友人たちが刺激し合える仲間でしたし、ゼミや語学の先生方にも恵まれました」。入学式前に行なわれた大学生協のティーパーティーで知り合った仲間をはじめ、授業に出るとまた知り合いができ、「友達の友達」の輪はどんどん広がり、仲間が増えていった。「友人などに、よくいろんな質問をされたんです。『こういう事が分からない』って言われた時に、いつも聞き

役でした。聞いて、じゃあ自分は何ができるかなと考える事が多かった。人の役に立ちたいという気持ちがありましたね。相談してもらえると嬉しかったです。腹を割って話してくれる友達が周りにいたのは大きかったなと思います。サークル活動はしなかったそうだが、学生時代には多くの体験をしたという。飲み会や旅行、キャンプなどいろんな事を共にし、大学でできた人脈はとても広がった。



卒業祝賀会で恩師の水野先生と（2008年3月）

職業を決める上で、大学生活のほぼ4年間にわたった塾のアルバイト講師は、大きな意味を持った。「大学一年生から卒業するまで塾の講師をやっていました。そこは私が小さい頃に通っていた塾でした。それで高校卒業、大学の入学報告に行った時に、先生を募集しているのやってみないかと話をもちかけられ、やってみようかな」と思いアルバイトを始めた。その塾で中高校生を中心に教えたのが数学。高校の時に数学担当だった先生が、噛みくだいて分かりやすく教えてくれたことで好きになり、数学・数字に自信を持つようになったそうだ。そこから徐々に、自分が貯えた知識を人に伝える仕事に就きたいと思うようになっていった。

さらに、大学で学んだ経済学が結びついていく。「大学受験の時に、経済を学ぼうと思ったのは、経済というのは生き物だと思ったから。その生き物をどういう視点で見るといところを勉強したい。色んな視点から見て、見方が変わるのであれば、それは何故だろうという疑問、興味を持ちました」。

少しずつ学年が上がっていくにつれて経済学の知識も増し、新たに税法という経済と結びつきの深い、また数字とおおいに関連する



授業で親しくなった友人たちと（左から1人目が山田さん）

「国税専門官」。公務員志望の人には馴染みの職業だが、一般の人にとっては何やら少し堅苦しい。公務員採用試験の中でも難関だが、身近なところでは税務署の職員さん。ぐっと近い存在になる山田さん、4年目の「働きマン」だ。

法律に出会った。「この一般にはまだ馴染みが薄い税法をもっと勉強して、それを活かしたい」と思うようになったという。自ら勉強し、「それを噛み砕いて人に伝えられるような職に就きたい」。そう考えたときに、現在の職業である国税専門官に行き着いた。

後輩へのメッセージ

希望の職に就いた今も勉強の毎日だという。「今は、国際化、IT化の時代と言われ、FX（外国為替証拠金取引）やインターネットの取引などいろんなものが出て来て、社会の仕組みが複雑になってきています。そういったいろんな知識、引き出しが多ければ多い程、仕事の役に立ちます。また、年上の方、多様な業種の方とお話する機会があるんですが、その業界ならではの言葉などもよく知っておかないと同じ土俵に立てないこともあります」という山田さん。この現職での毎日と大学時代を重ね合わせるように、後輩たちへエールを送ってくれた。「学生時代にいろんな事に触れ、いろんな疑問を持って過ごせば、凄く有意義になるんじゃないかと思います。そのために図書館があったり、先生方がいたり、就職部の方がいたりするので、大学は人生の糧になるようなものがいっぱい。後は自分で貯えていけばいいんじゃないかと思いますね。そういう意味で、北海学園大学は最適な大学だと思います。今でも学園前をよく通りますが、後輩たちをうらやましいなと思ひながら見えています」。

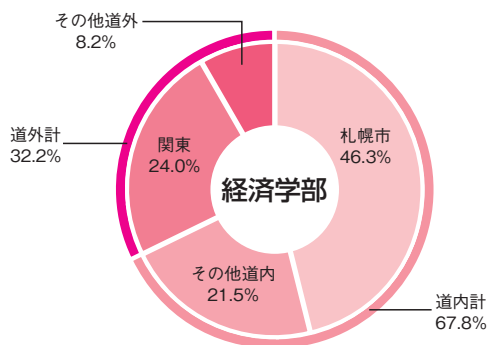


profile

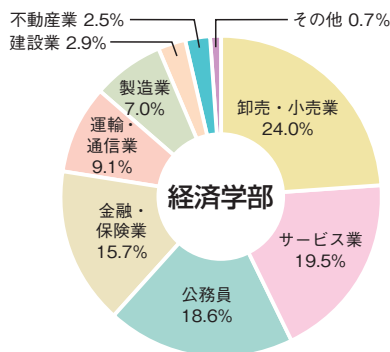
1984年 東京都八王子市生まれ
2003年 札幌市立開成高校卒業
2004年 本学経済学部1部経済学科入学
2008年 本学部卒業
2008年 札幌国税局札幌南税務署勤務

就職情報

↓ 本社所在地別就職状況



↓ 業種別就職状況



↓ 過去3か年の主な内定先 〔経済学部のみ〕 ※公務員は合格者数

企業名	人数
北海道警察	45
郵便局	21
生活協同組合コープさっぽろ	18
北海道旅客鉄道	14
北海道銀行	12
札幌市役所	11
ニトリ	10
札幌市消防	10
北洋銀行	9
国税専門官	9

↓ 就職部の主な支援活動

- 個別面談
- ガイダンス（民間・公務員）
- セミナー（面接対策・エントリーシート対策）
- 就職講演会（民間）
- 学内合同企業説明会
- 筆記試験模試（民間・公務員）
- YG性格検査、適職検査（R-CAP）の実施
- インターンシップの斡旋
- 資格取得講座／公務員試験対策講座
- オリジナルポータルサイト「ミナトコム」提供
- キャリアガイダンスの実施（1年次）

↓ 公務員・教員登録状況 〔平成22年度卒業生・全学部〕平成23年3月31日現在

名称	人数	名称	人数	名称	人数
国家公務員Ⅱ種	31	北海道職員	上級 3	札幌市職員	技術系 3
国税専門官	22		中級 22		学校事務 1
労働基準監督官	1	その他都府県	上級 1		消防 13
裁判所事務官Ⅱ種	4	北海道	警察官 72	その他市町村	134
防衛庁Ⅱ種	1		女性警察官 11	その他公務員（上記分類以外）※1	8
自衛隊幹部候補生	2	警視庁警察官	警察官 11	公立学校教員	7
自衛隊一般曹候補生	38	上記以外の警察官	3	国立大学等独立行政法人職員	87
海上保安学校	2	札幌市職員	行政 16	総計	493

※1）大学別合格者公表のない試験によるもの（本人申告分を含む）。入国警備官・刑務官など。

〔平成23年5月〕1部・2部基礎ゼミナール

NIE講義「北海道新聞社出前講座」受講

昨年度より、経済学部の教育改善の一環として行なわれている「新聞を活用した教育（NIE：Newspaper in Education）」が、1部・2部基礎ゼミを対象に開かれました。これは、北海道新聞社のNIE推進センターのご協力を得て行なわれました。経済学部全1年生を対象に「新聞を読む意義・面白さ・読み方」について、実際に当日の朝刊紙面を活用して講義が行われました。この講義の目的は、新聞を読むことを日常的な習慣にすることによって、社会科学系の学生として必要な常識的知識を習得し、情報読解能力を育成することにあります。受講した学生は皆新聞を広げ、熱心に講師の説明に聞き入っていました。また、新聞報道の重要性として、3月の東日本大震災の際に石巻市の「石巻日日新聞」が、自ら被災し印刷機を使えない中、手書きの新聞を発行し続け、現地の人々にとって貴重な情報の伝達手段となったことなどが紹介されました。今後、第2学期には、第二弾のNIE講義も予定されています。



5月27日NIE講義を受講した水野ゼミ、逸見ゼミ、宮島ゼミの各基礎ゼミ

〔平成23年5月～6月〕

平成23年度 保護者懇談会開催報告

5月から6月にかけて、本学では学生保護者の方を対象に、本学札幌会場と帯広、旭川、函館の各会場において保護者懇談会を実施しました。4月に差し上げたご案内に対し、申し込みをされた保護者の方が多数参加されました。

6月4日に行なわれた本学札幌会場では、希望者別に学内施設見学会、3・4年生対象の就職状況説明会があり、その後、全体説明会が行われました。全体説明会では、奥田仁経済学部長の挨拶を皮切りに、大学の制度・教務事項、学生生活、就職状況について、各担当教員が報告を行ないました。その後は希望者に対する個別相談も行なわれました。日頃触れることのない学生生活のさまざまな事柄に具体的な報告がされ、保護者の方々の中には熱心にメモをとる方の姿も見られました。ご協力いただいたアンケートにも多くのご意見が寄せられ、大学側の情報発信や保護者の方々との懇談会など、あらためて交流の必要性が確認されました。

開催状況

開催日	会場	会場名	組
5月22日（日）	帯広	とかち館	23
5月29日（日）	旭川	旭川北洋ビル	17
5月29日（日）	函館	函館北洋ビル	10
6月4日（土）	札幌	本学・豊平校舎	99



函館会場での個別相談会



本学で行われた全体説明会



大学内施設見学会